

リンククリーニングの方法（危険なリンクの見分け方）

さて、この項目では危険なリンクの見極め方についてご説明いたします。

リンククリーニングは勿論のこと、これから「被リンク」を集める方に参考にしてください。

まず危険なリンク（サイト）とは何か？

1. お金を払ってしてもらおうサイト
2. SEO 対策を目的に作ったサイトからのサイト
3. 人為的に貼られた極端に多い数のサイト

では安全なリンク（サイト）とは何か？一言で申し上げて…

不特定多数のネットユーザーがアクセスするサイト

です。つまり優良なリンクとは「自然にアクセスを獲得している」リンクです。

ただしアクセスされていないリンクが必ずしも「スパム」という訳ではありません。

Google はアクセスを獲得するサイトを高く評価しています。つまり優良リンクとは、アクセスの多いサイトのリンクを意味します。まことしやか囁かれる格言の一つに「アクセスは全てを許す」という言葉があります。これは Google が「たとえスパムサイトであっても不特定多数のアクセスを獲得している場合はペナルティを課せない」事からささやかれる格言です。

それほど Google はアクセスを獲得するサイトに寛容だという例です。

さて、この優良リンクまでクリーニングしてしまうのは非常にもったいない。アクセスの少ないサイトは「被リンク」されていても大した力になりません。スパムの危険性からも迷わず外しましょう。ではアクセスの少ないサイトをどうやって見極めるのか？以下を参考にしてください。

1. サイトのページランクをチェックする。

ページランクとは「アクセス数」「被リンクの質と数」「トップページのページランク」を採点して Google が付けるランキングです。このランクが2以上あれば安全なリンク先と考えましょう。

2. Google で関連サイト表されているか？

related:(URL) でターゲットとなるサイトを調べてみましょう。何も表示されなければ危険なサイトの可能性が高いです。1件でも表示されていれば安全なサイトでしょう。

3. alexa ランキングを調べよう。

アレクサランキングは amazon の子会社が提供する業種問わず全サイトをアクセス数でランキングするサイトです。世界ランキングに順位表示があれば安全なリンクでしょう。また日本ランキングに順位表示があればさらに安全なサイトと考えられます。

4. 大手ディレクトリサービスに登録されているか？

例えば「ヤフーカテゴリー（52,500 円）」や「クロスレコメンド（42,000 円）」など大手ディレクトリサービスへの登録があればかなり安全なサイトと考えられます。ディレクトリサービスは厳しい基準を設けて人間が一件一件、審査を行うので Google も信頼しているようです。

5. Google で「リンク元」表示があるか？

link:(URL) を調べた時にリンク元が1件でも表示されていれば安全性が高いと考えられます。

確定的ではありませんがこの「link:」で調べられるのは被リンクをしているサイトです。

この方法では Google が高く評価する非リンク先しか表示しないので表示が1件でもあればかなり安全なサイトと推測されます。

上記の方法で確認をして条件をクリアするサイトは「クリーニング」する必要はないでしょう。

また、被リンク先を探す場合においても同様の方法で確認を取ってください。

リンクの安全な張り方について

さて、「安全なリンク」と「危険なリンク」を理解頂いた上で次は「リンクの安全な貼り方」について説明します。まず最初に申し上げたいことは同じリンクを持っていても警告を受けるサイトと受けないサイトが存在することです。それは「運」ではありません。警告を受けるサイトにはそれなりに理由が存在します。

例えば単純に A サイトは「スパムサイト」を 10 件保有しています。B サイトは「スパムサイト」を 50 件保有しています。しかし警告は A サイトにのみ送られてきました。なぜでしょう？

答えは簡単です。B サイトは被リンクの「スパム比率」が少なかったからです。

たとえ 50 のスパムサイトを抱えていても 200 の優良リンクを持っていればペナルティにならないケースがほとんどです。A サイトが 10 件のスパムリンクと 10 件のリンクを保有していた場合、スパム比率は 50% となります。この場合は警告が来る可能性が極めて高いと言えるでしょう。A サイトは 250 件中 50 のスパムリンクなのでスパム比率は 20% です。この場合は警告が来る可能性が少ないでしょう。しかしこの「スパム比率」だけでは安心できません。

例えば、リンクがある時期に急増するケースです。これは Google から不自然な被リンクの獲得と判断され優良リンクの割合が高くても警告を受けるケースがあります。急激な被リンクは「リンク売買」である可能性が高いと Google は判断します。安全なリンクの集め方としては月に 3 件程度を目安に継続的な被リンク収集を心がけましょう。ただしタイムライン上の被リンクは急激であっても疑われることはありません。ただし持続力はないのであまり意味はないでしょう。

ではリンクをどのような順序で貼れば健全なのでしょう？

リンク対策においてはどの様な被リンク元をどのような順番で獲得するかが極めて重要となります。順番を守らなければ Google が SEO 対策をしていると判断しペナルティを受けることがあります。

1. 自社が運営している別ドメインの既存サイト、または無料ブログからトップページへリンク

もし自社（自分）で運営する別ドメインの既存サイトや無料ブログ（アメーバ、ライブドア、FC2 など）があれば目標サイトのトップページへリンクを張りましょう。いきなりリンクサービスなどを利用するととても危険です。

2. 大手ディレクトリへ登録。TOP ページにリンク

大手ディレクトリサービス（ヤフーカテゴリ、dmoz、クロスレコメンドなど）に登録すればサイトの信用度は格段に上がります。登録には厳しい審査と費用がかかります。費用を払っても審査が通らないこともあります。ヤフーカテゴリの場合は予備審査でスパムのヒントはくれますが修正必要箇所は教えてもらえません。

3. アクセスのある一般サイト（SEO 目的ではないサイト）からのリンク

左記方法を使ってアクセスのあるサイト（できれば同業種）を探しましょう。相互リンクを募集しているサイトなら貴方のサイトが大手ディレクトリの登録があることで信頼してもらえます。できるだけ多くのリンクを時間をかけて集めましょう。

4. 自社が運営している無料ブログに紹介記事を掲載。下層ページへリンク（ディープリンク）

トップページにしかリンクのないサイトは SEO 目的のサイトだと Google に目をつけられます。自社サイト（ブログ）で構わないのでディープリンクの獲得をしましょう。

5. 各種リンクサービスの利用や衛生サイトから下層ページへリンク

ここまでの手順を踏んで初めて各種リンクサービスを利用しても疑われ難いサイトになります。しかしアクセスのないリンクサービスや衛生サイトなどからのリンクは、やはり危険です。切り離し可能な下層ページへのリンクをお勧めします。

新 Google は「SEO 業者」を一層したいと考えています。そして SEO 対策目的の「被リンク」を無くしていこうとしています。なぜか？それは純然たる「被リンク」こそがサイトを評価する方法論として優れているからです。「SEO 目的の被リンク獲得合戦」により乱された世界を取り戻すべく立ち上がった新しいアルゴリズムは「SEO 目的の被リンク」に対して極めて厳しく、Google クオリティサーチチームによるディレクトリ型のペナルティが大いなる驚異となっています。ガイドラインを読んでみても「被リンク対策」で出来ることとはグレーゾーンな施工だけです。最も正攻法で推奨できる「被リンク対策」はリンクマグネットを作ることにしかありません。しかしこれは「内部対策」の範囲で有り極めて高度なディレクション能力が必要でしょう。つまり今、できる「被リンク対策」とは？法の目を掻い潜る…グレーゾーンがどこであるのか？を探り当てるだけに過ぎません。そして現在そのグレーゾーンの確信は以下のとおりです。

- **被リンクは25～33%程の影響力を持っているので正しく安全な「被リンク」を地道にゆっくりと集めましょう。**
- **安全なリンクと危険なリンクの見分け方をしっかり理解しましょう。**
- **スパムリンクは「数」ではなく「割合」でペナルティが来ます。危険なリンクが全体の20%程度なら警告を受ける可能性が低くなります。**
- **リンクは継続的に2～3程度のペースで増やしましょう。一気に増えるとリンク売買を疑われます。**
- **被リンクガイドラインでペナルティを受けた場合、どれだけ誠意を見せ「リンククリーニング」に対応しても順位が完全に戻ったケースはありません。**
- **キーワードのテキストリンクはやめましょう。不正リンクを疑われます。**
- **リンクの張り方の手順をしっかりと守りましょう。**
- **トップリンクだけではなくディープリンクを張るようにしましょう。**
- **同一テーマからのリンクだけではなく他業種からのリンクも30%～50%獲得しましょう。**
- **オリジナル文章からのリンクは Google から高く評価されます。**
- **流動リンクではなく固定リンクを獲得しましょう。Google では流動的なリンクを嫌います。**
- **クリック率の低いリンクは効果が高くありません。目立たないリンクは無意味です。**
- **トップリンクだけではなくディープリンクを張るようにしましょう。**
- **リンクマグネットを作りましょう。**

以上のことを守って「被リンク対策」をしましょう。中でも「リンクマグネット(マグネットリンク)」についてはどんなにアルゴリズムが変更しようとも安全で効力のあるものです。

現在においても「リンクマグネット(マグネットリンク)」についての情報は乏しく…どのように作ればいいのか難しいという人が多いので、簡単に説明だけいたします。

「リンクマグネット(マグネットリンク)」とは磁石のように被リンクを集めるページを言います。当然、ニッチな情報で、人に紹介したくなるようなコンテンツが必要となります。つまりリンクマグネットを作るには有益な情報の提供が不可欠となり「リンクフリー」である事を記載する事で正攻法なリンクマグネットは完成します。しかしこの程度では被リンクを獲得するのは困難です。最も効果的な方法はポータルサイトを作ることですがハードルが高いので、簡単なリンクマグネットの作り方を紹介します。リンクマグネットとはリンクを張りたくなる仕組みを作る事です。例えば「会社の近くのオイシイお店」という企画を立てて店舗紹介をする方法です。うまくいけば掲載店舗から「紹介されました」というリンクを獲得できるかもしれませんが。皆様も創意工夫を持ってリンクマグネットを作ってみてください。そしてリンクマグネットのページに「rel="nofollow"」を必ず入れましょう。ページテーマの相違は減点となります。